



雲林寺報

第15号

2013年夏号

吾妻郡長野原町73

大洞山 雲林寺

TEL0279-82-2201

平成25年4月3日 大般若会 転読

日々是好日、合掌のうちにご精励の事と存じます。

常日頃より当山護持のために御協力を賜りましてありがとうございます。このところはスマートフォンやインターネットなどの技術がめまぐるしく発達し、生活が豊かで便利になっていく反面、かえって時間や約束事に追われ、慌ただしい日々を送られる方も多いのではないのでしょうか？

曹洞宗には「**禅戒一如**」(ぜんかいいちよ)ということがあります。

禅の修行をすることは戒律(仏教のきまり)を守っていることと同じである、といった意味の言葉です。

皆様は「禅」といえば坐禅の様子を想像されるのではないでしょう？か？実はそれだけでなく行住坐臥一挙手一投足の全ても禅修行の一環で昔から伝えられてきた教えがあるのです。

例えば道元禅師はお書きになった本の中で洗面や歯磨き、食事の作法を説いていらっしやいますし、瑩山禅師も「お茶を出されたらお茶を飲み、食事を出されたら食事をいただきなさい」とおっしゃっています。このお示しのように何気ない日常の行動を一心に行うことが「禅」であり、仏さまの教えであると考えているのです。

私たちは、忙しさに追われ、どうしても日頃の些細なことをおろそかにしてしまいがちです。

日常の当たり前の行い、一つ一つを大事に過ごしてみませんか？きっと新たな発見があると思います

雲林寺住職 轟 紀久

護持会だより 第一回通常総会が開催されました

六月三〇日、総代世話人総数四十二名中出席者二十四名、委任状提出者十七名により総会が開催されました。詳細は同封資料をご覧ください。

(総代) 一〇名の役職が正式に決まりました。

会長 萩原昭朗 会計 山口次夫
副会長 櫻井芳樹 幹事 永井芳司
書記 田村守 櫻井輝久
黒岩元 長谷川誠 宮崎透

(世話人)

長野原 安斉たけ 市川儀一 黒岩範一
大津 黒岩保男 宮崎広保 山口喜正
羽根尾 浅見良雄 山崎敏男 小林喜一郎
与喜屋 櫻井敏雄 市村真 湯本茂 吉澤功
横壁 萩原進 塩野英介 湯本茂 吉澤功
金子茂雄 櫻井守夫 山口義秋
小林寛 篠原憲一 篠原忠秋
川原湯・川原畑 豊田清
北軽井沢 青木博文 土屋満洲夫
宮田満 小林一雄 清水忠雄 岩田紀重
吉田昇 柳沢豊

※新任の方です

第一回通常総会の様子です。



草津温泉ホテルにて開催されました。



主な行事報告

四月三日、当山恒例の雲林寺大般若会が行われました。大般若会とは、大般若經の經文を読む(転読)ことにより、その功德をもって、世界の平和や参列者の平安などをご祈禱申し上げる法会です。

この転読とは、僧侶何人かで手分けして經本をアコーデオンのようにパラパラと広げてめくって流し読むことで、それによって清らかな「般若(はんにや)の風」が起きるとされています。この「清らかな風に当たること」で、昔より**家内安全、厄難消除、商売繁昌**などの**ご利益がある**とされております。

毎年この会では総代・世話人さんのみ参加されていましたが、来年よりどなたでも参列できるように致しました。是非皆様多数参列されて、転読による般若の清らかな風のご利益をお受け下さい。

七月一六日、長野原町と姉妹都市である米国リビングストンよりお客様が見えました。本堂で坐禅や書道を体験して頂きました。

八月五日、浅間山の「天明の大噴火」の供養祭が雲林寺参道内で行われました。供養祭の後、長野原町教育委員会の富田孝彦様に「天明三年(一七八三)の記録」町道長野原線に伴う埋蔵文化財発掘調査」の講演をして頂きました。

(後半の主な行事)

九月二十日(二十六)・秋彼岸

九月八日・雲林寺親睦ゴルフコンペ ※草津カントリークラブ

十一月七日・梅花流群馬県奉詠大会 箕郷文化会館
十二月三十一日・除夜の鐘



7月16日 交換留学生の坐禅体験



8月5日天明供養祭 講演会

大本山永平寺(ご先祖様の供養、参拝) と錦秋の北陸路の旅

檀信徒の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。恒例となっております「曹洞宗第六教区護持会」主催の参拝親睦旅行を1泊2日の日程で計画致しました。檀信徒の皆様のご親睦を深めたくお誘い合わせの上、ご参加下さいませようご案内を申し上げます。

日程：平成25年10月30日(水) ~31日(木)

ご旅行費：33,000円
(法要恩金、参拝料、朝食1回、昼食2回、夕食1回、記念写真代金)

募集人員：100名

申込方法：8月31日迄に各寺院に10000円を添えてお申込み下さい。

企画：曹洞宗第六教区護持会

旅行主催：東武トラベル

| | | | | | |
|-------|-------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 10/30 | 6:30 | 12:20~14:00 | 14:10~15:00 | 15:25~16:10 | 16:50 |
| | 長野原 | ゆのくにの森 | 那谷(なた)寺 | 北前船の里資料館 | あわら温泉 |
| | | 昼食 | 真言宗別格本山 | | まつや千千泊 |
| 10/31 | 8:30 | 9:30 | 13:15 | 15:05~15:30 | 20:00 |
| | あわら温泉 | 大本山永平寺 | 門前 | ます寿司工房 | 長野原 |
| | | ご先祖様の供養、拝観 | | 昼食 | |

※宿泊ホテルのまつや千千(せんせん)はプロが選ぶ日本の旅館100選に13年連続入選中。源泉大浴場・露天風呂「千のこぼれ湯」は北陸最大級のスケールです。

五観の偈とは

みなさんは、食事のまえに「いただきます」とおとなえすると思います。

曹洞宗には食事(じきじ)作法というものがあ、修行僧はその作法に則って食事をいただきます。ここにご紹介する**五観の偈**は、その中で親しみやすい偈文※ですので、食事の前には非おとなえしてみてください。これをとなえ、「いただきます」をすることで、食事がありがたく、美味しくなります。※偈文(げもん)とは教理のことです。

一つには、功の多少を計り、彼の来處を量る。

一つには、己が徳行の全欠と忖って供に慮す。

三つには、心を防ぎ過を離るることはとんとうしゅう。

貪等を宗とす。

四つには、正に良薬を事とするは形枯を療ぜんがためなり。

五つには、成道の為の故に今この食を受く。

(意味)

①感謝：他のものの生命に支えられ、犠牲の上になんかされている。感謝していただきます。

②反省：大切な生命を頂ける日々の生活を送っているか、反省していただきます。

③正しい心を育てる：形を大切に作法を重んじる。姿勢を正しくして、器を取り上げて、残さずいただきます。

④心身の健康：身と心の健康を保持するが故にいただく。

⑤菩薩道の実践：限りなく仏になるよう精進努力するが故にいただく。



庫裡新築に伴い境内を一部整備致しました。

庫裡新築に伴い、境内を整備致しました。本堂の裏山には、倒れたら屋根を直撃しそうなケヤキが数本あり、かねがね伐採せねばと思っておりました。

ケヤキは山の斜面に生えているため、屋根側に垂れ下がっており、台風シーズンになると、直径二〇センチ程の枝が落ち、屋根を傷めておりました。五年前には庫裡の屋根を突き刺した事もございました。

今回庫裡新築の際に、庫裡の一部車庫、収納小屋の三つの建物を壊し、そのスペースにクレーン車を入れ七本のケヤキを伐採することが実現できました。

また、現在の庫裡の前にあつた松の木が工事の妨げとなるため、鐘楼堂横に移植致しました。こちらもクレーン車による移動となりました。鐘楼堂横に移植したことにより、より松の良さが引き立ち、ご覧頂いた方々に好評を得ております。旧庫裡は今後、寺務所、書院、お寺専用の接客室の機能として使う予定です。



↑ 伐採している様子



クレーン車で吊り上げました。



第5回雲林寺親睦ゴルフコンペのご案内

開催日:平成25年9月8日(日)
場所:草津カントリークラブ
集合:7:45 スタート:8:30
募集人員:60名
プレー費:8,500円 ※ランチ・パーティー代込
参加費:1,000円

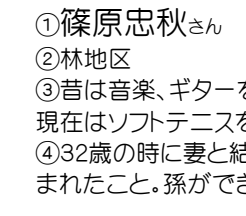
今年も雲林寺親睦ゴルフコンペが開催されます。プレー終了後は、雲林寺本堂で表彰式、景品授与等パーティーを開催致します。お申し込みは各地区の世話人、又は雲林寺へ直接お願い致します。尚、過去ご参加頂いた方へはおハガキにて通知をさせていただきます。皆様多くの御参加をお待ちしております!!

世話人さん紹介

今回も世話人さんをランダムでご紹介させていただきます。
①お名前②担当地区③趣味・特技など④人生で一番嬉しかったこと



- ① 篠原憲一さん
- ② 林地区
- ③ 登山。昨年妻と富士山に登りました。100名山を目指し、現在71山達成しております。
- ④ 登山の際、撮影した写真が入選すること。大きな賞では、第二回ハツ場フォトコンテストでグランプリを頂きました。



- ① 篠原忠秋さん
- ② 林地区
- ③ 昔は音楽、ギターをやっていました。現在はソフトテニスをやっております。
- ④ 32歳の時に妻と結婚し、二人の子宝に恵まれたこと。孫ができると尚、嬉しいです。



雲林寺駐車場(国道沿い)の上や参道を整備をして頂いてありがとうございます。また、お花も植えて頂きました。ありがとうございます。

感謝録

市川三男様



7月3日に誕生しました。

副住職に第三子次男が誕生しました。名前は「大慈(だいじ)」と申します。宜しく御願致します。

永平寺「電話説法」

0776-63-3399

ご自宅で仏教・禅のお話が聞ける電話説法です。爽やかな安らぎと心の潤いにして頂ければ幸いです。



梅花流詠讃歌 曲紹介

まごころに生きる

シンガーソングライターの南こうせつ作詞作曲による最もポピュラーな梅花流詠讃歌です。南こうせつ自身も曹洞宗勝光寺(大分県)の三男であり、曹洞宗より依頼されこの詠讃歌が生まれました。

そよ ぶく かぜに ことーり なき かわの な がれ も
 さ さー やく よ き せ つ の は な は う つー り ゆ き
 い と し い ひ と は い まー い ず こ ※ほ ほ
 え み ひ と つ な み だ ひ と つ
 で あ い も わ か れ も だ き し め て い き て る
 い まー を あ い し て い こ う

※ほほえみひとつ 涙ひとつ
 出逢いも別れも 抱きしめて
 生きてる今を愛して行こう
 二、広がる海は はてしなく
 全ての命 はぐくむよ
 人の心も おおらかに
 互いを敬い 信じ合おう
 ※くりかえし
 三、幼い頃に いだかれた
 温もり今も 忘れない
 この世でうけた 幸せを
 そっとあなたに 捧げましょう
 ※くりかえし

まごころに生きる
 南こうせつ作詞作曲

今年の全国大会では埼玉、千葉、山梨と群馬県の合同登壇で、うち群馬県の参加者は三十七名ということでした。雲林寺講からは十四名の方に参加して頂きましたが、代表登壇は宮崎八ナさん、篠原禮子さん、落合雅子さん、依田たつ子さん、山本節子さん、山崎トシヨさんの六名の方が選出され、そのお役目を立派に果たされました。法具を捧持し、ライトのまぶしい壇上に立つということは思いのほか、労力を必要とします。六名の皆様お疲れ様でございました。

清興では、さとう宗幸さんの青葉城恋歌やその他の歌の音量の豊かさにご感動したのは多分、私だけではないかと思われました。そしてまた、来年の開催地出雲の国での再会を誓い会場を後にしました。

梅花流たより



平成25年5月29日と30日の2日間にわたり、宮城県利府町の「グランディ21」において、平成25年度梅花流全国奉詠大会が開催されました。今大会では東日本大震災被災物故者三回忌法要が併修され、2日間を通して、約11000人の梅花講員が参加し、鎮魂と復興への祈りを捧げました。

花まつり 富澤 ふじ江

いつもの様に新聞に目を通して見覚えのある活字にハッとしました。それは一昨年のホテル天坊での研修会で「幸は梅花なり」の法話講師の峯岸正典先生のお名前だったので。先生は「和」について色々書いておられました。その中の一つにこの記事を載せた時期が丁度お花見の頃だったのでその宴の様子をこう書いておりました。「和」についての漢字の「のぎへん」は稲を表し「つくり」の口はお米を表しているとのこと。そこでお花見の時にみんなで持ち寄った食べ物もみんな分けて合う。独り占めせず自分だけで良ければいいということではなく、ご馳走の近くに人、みんながよいように遠くの方まで目配りされる、これが和としての原点のようだと書いておられました。私たちにも共通の行いがありました。それは四月八日、お釈迦様の誕生をお祝いする花まつりの時のことです。

花御堂に安置されているお釈迦様像に私達は甘茶をかけ、手を合わせ、そして釈尊祭御和讃をお唱えして誕生をお祝いします。お唱え後、奥様の心尽くしの手料理と幾人かの方の持ち寄ったお品を楽しく頂きながらよもやま話でとてもにぎやかです。

自然にコミュニケーションが計れる和やかないつときを過ごしました。

この掲載記事を読みながら私たちのこの集いも「和」としての基本なのではないかとつくづく感じ取れた花まつりの一日でした。

編集後記

毎年お盆の時期になると「**枝葉栄えんと欲せば、先ずその根を養うべし**」という言葉が特に身にしみみます。根がなくては木は立ちません。根が枯れてしまうと、幹も太らず、枝葉は茂らず、春が来ても美しい花を咲かせることはできません。

根は先祖であり、幹は両親、そして枝葉は子孫です。父母、祖先を敬い供養することはその形見である我が身を大切にすることであり、子孫によく受け継がれるものになります。

故に昔からよく言われたものです。**「身を立って家を興す人、必ず先亡の供養を怠る者なし」と。**

副任職 轟 省吾

